

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 経企-19 旧和辻邸管理運営事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	文化人権推進課	関連課	建築住宅課				
分野名	文化						
目標 (目標値)	旧和辻邸の適正な維持管理を図る。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
運営資源状況	決算値(千円)	1,558	2,700	3,785			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	1,558	2,700	3,785			
	人員配置数	0.2人	0.2人	0.4人			
	人件費(千円)	1,539	1,602	3,504			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	3,097	4,302	7,289			
	市民1人当りの経費(円)	17	24	41			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
旧和辻邸管理運営事業	1,558	川喜多映画記念館等管理運営事業の一部	578	今後の方向性	C	理由・手法	建物の保全のための修繕とともに、川喜多映画記念館との一体管理を前提とした効率的な運営、活用方法などについて検討を行う。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な保存を実現するために計画的な修繕を行う必要がある。 ・公開機会の拡大など、活用方法を検討する。 											
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・南縁側の修繕を行った。 ・川喜多映画記念館との一体管理を前提とした活用方法を検討した。また、公開時に旧和辻邸前庭で若手アーティスト作品の展示を行った。 					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決					
未解決の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な保存の実現のため、今後も計画的な修繕を行う必要がある。 ・川喜多映画記念館との一体管理により効率的な運営を行うことを前提とし、活用方法を検討する必要がある。 											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の保全のための修繕とともに、川喜多映画記念館との一体管理を前提とした効率的な運営、活用方法などについて検討を行う。 							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ C		※ <input type="checkbox"/> 事業完了		

評価者名

文化人権推進課長

春日 和美

